

# Release Notes—AJA Mac Plug-Ins for Adobe Version 7.5.1

## 対応製品：KONA 3/LHe/LHi/LSe/lo Express

このソフトウェアリリースにはMac OS X上で動作するAdobeビデオアプリケーション用のプラグインソフトが含まれています。初めてKONAカードおよびlo Expressを使う場合は、Read Me First書類、ユーザマニュアルを必ず確認してください。このソフトウェアリリースは、対応製品に新しい機能と動作の最適化を提供します。

## システム要件

- ・ QuickTime 7.6以降
- ・ Mac OS X 10.5以降
- ・ AJA KONA/lo Express ドライババージョン7.5.1（別途インストールが必要です）
- ・ 推奨システム環境と設定については、下記URLを参照してください

<http://www.aja-jp.com/support-kona-rec-sys.html>

- ・ Adobe Premiere Proを使用する場合は、バージョン4.2.1アップデートが必須
  - ・ Adobe Media Encoderを使用する場合は、バージョン4.2以降
- ※このドライバはAdobe CS3をサポートしていません。

## 新機能

- ・ KONA ドライバ7.5.1をサポート
- ・ Adobe Premiere Pro 4.2.1をサポート

## 改善点

- ・ lo ExpressからHDMI経由でキャプチャーする場合の問題を解消
- ・ Premiere Proタイムラインの再生/停止パフォーマンスを改善
- ・ Premiere Proのスピードコントロールエフェクトを改善
- ・ Premiere ProのタイムラインからKONA 3を使用したDual Link再生の問題を解消
- ・ Premiere ProのAJA Captureを使用した場合に“Disk Full”と表示されることがある問題を解消
- ・ After EffectsでAJA Plug-inを使用した場合の文字色を最適化
- ・ After EffectsおよびPhotoshopからのテストパターン出力の問題を解決

## 既知の問題と制限事項

- ・プログレッシブフォーマットのプロジェクトでHDMI出力を得るには、ほとんどの場合“PSFではない正確なプログレッシブ”設定にする必要があります。プログレッシブフォーマットを取り扱う場合の多くは、HD-SDIやアナログコンポーネント出力のために、PSF (Progressive Segmented Frame) としてプロジェクトを設定します。AJAの1080pプロジェクト設定もデフォルトではPSFに設定されています。HDMI出力のために強制的にプログレッシブ設定を行うためには、Premiere Proの再生設定の“disable segmented frames”にチェックを入れる必要があります。
- ・Core Audio ドライバは、Premiere Proでは使用されなくなりました。このドライバは未だにオーディオハードウェアの選択肢として表示されますが、KONA 3/KONA LHi/lo Expressなどを選択する必要があります。Core Audioドライバを選択した場合、音声に関する問題が発生する可能性があります。この件に関する詳細な情報は、Io Expressユーザーズマニュアルの82ページ（英語）を参照してください。
- ・Adobe Premiere Proの使用中に再生を停止した場合、CTIは1～2フレーム前にずれる場合があります。
- ・Adobe Premiere ProからQuicktimeファイルをエクスポートする場合、AJAのFile Exporterを利用する必要があります。Premiere Proが提供するQuicktime File ExporterとAJA製品を併用することは、Premiere Proがクラッシュする原因となる可能性があります。
- ・AJAデバイスコントロールダイアログは、Premiere Proのキャプチャウインドウを閉じる前に閉じる必要があります。先にキャプチャウインドウを閉じた場合、Premiere Proがクラッシュします。
- ・今すぐキャプチャ時には、RS-422経由でタイムコードの記録ができません。タイムコードが必要な場合にはRP-188エンベデッドタイムコードを使用して下さい。
- ・一部のSony製VTRをジョグ機能でリモートコントロールする場合、正しく動作しない場合があります。
- ・Premiere Pro の設定のうち、「render RT files of different resolutions」のチェック/アンチェックの切替えは、すぐには効果が反映されません。一旦プロジェクトを保存し、再起動を行う必要があります。
- ・Variable Frame Rates (VFR) のプルダウン追加は、タイムコード情報に最適化しません。
- ・今すぐキャプチャ及びビデオにプリント時に、プルダウンフレームレートは動作しますが、インサートエディット及び、In/Outキャプチャ、バッチキャプチャでは動作しません。